



## 佐伯地域の皆様

廿日市市議会議員

# 井上さちこ

議会傍聴にお越しく下さい。  
平成26年6月13日(金) 14時30分～

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成26年度6月議会が6月10日から24日まで開かれます。一般質問の機会をいただきましたので、ご案内申し上げます。今回は3問質問をいたします。

### 1 JR宮島口駅北口整備の進捗状況と今後の見込みを問います。

市は、平成24年12月に、JR宮島口駅北口整備のための、北口道路整備の用地取得のため、地主への説明会を実施しました。しかし、その後何も前進していない様子です。北口道路ができれば、JR北口駅もできる予定です。

宮島口駅利用者が、地元の駅を安全に乗用車で送り迎えできるのは、住民の長年の夢です。一刻も早く整備に道筋をつけるべきだと考え、進捗状況と今後の整備の見込みを問います。

### 2 佐伯高校の存続に向け、全国募集の実施を。

佐伯高校は、平成23年度から4年連続で定員割れが続いています。

5月26日に高校存続を目的とした「学校活性化協議会」が結成されました。

しかし今後3年間で活性化策をすすめ、その後2年続けて定員を大きく下回る場合は、県教委が統廃合を含めた再編を検討します。

吉和・佐伯地域の子どもたちに佐伯高校入学の選択肢がなければ、交通費の負担が大きく、若い世帯は吉和・佐伯地域に住めないとの声も出ています。**この際、市は本気で高校の存続に向け、支援策を考えるときではないかと質問します。**

### 3 「市国際化指針」策定後の目標の進捗状況と国際化に対する今後の展望について。

「市国際化推進指針」は本市の国際化施策の理念、目標、施策の方向性を明らかにし、市と国際交流協会等とが連携するための役割分担を定めています。

この指針策定後に、東京オリンピックが決定しましたが、このビッグイベントを本市の観光振興にどのように組み入れていくのかを問います。またオリンピックのための大型公共工事の建設ラッシュが予想され、広島県の地場の建設業者も2次下請けとして東京へ駆り出され、広島では外国人労働者の移入が進むと考えられたため、その受け入れについての「多文化共生推進事業」については現状のままでいいのかと認識を問います。さらに公・民一体で設立した国際交流協会への今後の支援の展望を問います。

お忙しいとは存じますが、是非傍聴いただきますようお願い申し上げます。